

暑い！たまたらん！教室何とかして！



ついにちは

岸本のり子です

発行 日本共産党
 大津湖西地区委員会
 連絡先 日本共産党大津市会議員
 岸本のり子
 大津市和邇春日2丁目
 ケイタイ 08031163877

2009・7/26 No.74

日本共産党

国で成立した2009年度補正予算の地域活性化経済危機対策交付金。大津市では7月の臨時議会で18億1550万円の一般会計補正予算が組まれました。

パソコン・デジタルテレビ・電子黒板に11億3千300万円！

大津市はこの交付金を活用して、「21世紀の学校にふさわしく」と市内の小・中学校にノートパソコン6009台、デジタルテレビ973台、55台の電子黒板を整備するために11億3千300万円を計上。現場の先生からは「長時間労働の現場がさらに疲弊する。電子黒板よりも先生を増やしてほしい」との声も出ています。

現在、市内小・中学校のパソコンは13・4人に1台の割合ですが、生活環境が全く整わないのにパソコンだけ先進国並みにとイキナリ3・4人に1台へ！

臭いトイレなおかしい！ 教室にクーラーか、せめて扇風機つけて！

生徒たちは夏になるとトイレが臭い、教室が暑いと嘆いています。ある中学校では、扇風機も、暑い3階や、1階の受験生組の教室にあっても、2階にはなく、「暑くてたまらんー扇風機つけてほしい」……悲鳴をあげています。「このことは市内の小・中学校全体の問題でもあるのです。」

岸本市議は、交付金の活用について、現場の実情にかみあった予算計上となるよう強く求めました。市は質の高い教育をめざす、学校教育ICT化は長年の重点課題であると答弁していますが、暑い夏に扇風機つけない教室、これで21世紀にふさわしい学校といえるのでしょうか。

地元発注優先で、地域の活性化を

本来地域活性化が目的の交付金。今回のような場

解散・総選挙決まり！



「一緒に政治を変えましょう」
川内さんと岸本市議

いまこそ
日本共産党

衆院選挙は比例代表と小選挙区の2票あります。

比例代表は『日本共産党』と政党名を

制度解説

合、発注は大量に納入できる大手電器量販店や製造元に限られてきます。しかも電子黒板は全国で大手4社しか製造していません。
 これでは地域より大手企業の活性化です。
 岸本市議は、市内中小企業を優先して発注するよう強く求めました。
 市は物品ごと、分離分割ができるか検討していくと答えています。
 ~~~~~  
 総選挙ねらいの緊急経済対策でなく、本当に国民生活を応援するといふのなら、社会保障費2200億円の削減路線をきっぱり撤回し、この間削除した1兆6千200億円を元に戻し、社会保障充実路線へ転換をはかることや、労働者派遣法の改正などによる雇用の安定、中小企業の安定など、国民生活へ軸足を移すことが必要です。  
 大津市は、国にこれらの改善を求めると共に大津市が住民に身近な自治体として、可能な限りの生活支援策を充実させることではないでしょうか。